

令和5年度 みどりの基本計画 施策の進捗状況報告シート

みどりの目標 みどりの基本計画 P30, 31より

目標1 保全・創出するみどりの面積

本計画の取組により、新たに保全するみどりを2.0ha、新たに創出するみどりを1.8haにすることを目指します。

現状値（令和3年度）	令和5年度	目標値（令和23年度）
—	保全 0.21ha	保全 2.0ha
	創出 0.0ha	創出 1.8ha
実施内容等 新たな保全として、令和5年12月28日に市民緑地であった大坂ふれあいの森（2,149㎡）を特別緑地保全地区に指定（公有地化）した。また、令和5年度に新たな創出はなかったが、令和6年度には「にけんしんでん公園」（0.039ha）が整備される予定である。		

目標2 湧水の箇所数

本計画の取組により、湧水の箇所数を維持していくことを目指します。

現状値（令和3年度）	令和5年度	目標値（令和23年度）
21箇所	21箇所	21箇所
実施内容等 湧水の箇所数は変わっていない。		

目標3 湧水に親しめる環境の整備

湧水がせせらぎとなって流れる様子が観察でき、そこで子どもたちが湧水に触れ合えるような環境を整備します。

現状値（令和3年度）	令和5年度	目標値（令和23年度）
3箇所	3箇所	5箇所
実施内容等 湧水に親しめる環境を備えた「坂下ふれあいの森」の公開を検討しているが具体的な進捗はなかった。（公開年度は未定）		

目標4※ みどりを市の魅力と感じる人の割合

本計画の取組により、みどりを市の魅力とを感じる市民の割合を約10%高めます。

現状値（令和3年度）	令和5年度	目標値（令和23年度）
大人 49.9%	—	大人 60%
中学生 36.1%		中学生 50%

目標5※ 「自然環境が豊か」なので和光市に住みたい人の割合

本計画の取組により、「自然環境が豊か」を定住理由として選択する市民の割合を20%まで高めます。

現状値（令和3年度）	令和5年度	目標値（令和23年度）
大人 13.8%	—	大人 20%
中学生 6.5%		中学生 20%

※ 目標4と5については、都市計画マスタープラン策定のためのアンケートを指標として活用するため、次回アンケート調査（令和13年頃）まで確認の予定はありません。